

# 自由民主党国土強靱化総合調査会レポート NO.38

自由民主党国土強靱化総合調査会（会長：二階 俊博衆議院議員）の第三十八回会合が下記の通り開催されましたのでご報告致します。

1. 日 時 平成 24 年 9 月 6 日（木）8:00～9:00

2. 場 所 党本部 707 号室

3. 参加者 二階俊博会長、町村信孝顧問、武部勤会長代理、林幹雄筆頭副会長、金田勝年副会長、宮腰光寛副会長、福井照事務総長、望月義夫常任幹事、今津寛常任幹事、竹本直一常任幹事、赤澤亮正幹事、泉信也参与、伊東良孝、伊藤忠彦、河村建夫、北村誠吾、高村正彦、高木毅、谷川弥一、中村喜四郎、古屋圭司、猪口邦子、大江康弘、金子原二郎、鴻池祥肇、伊達忠一、二之湯智、長谷川岳、松下新平、山谷えり子、山本順三（順不同）

代理参加 古賀誠顧問、山東昭子顧問、三ッ矢憲生副会長、西村康稔常任幹事、橘慶一郎幹事、麻生太郎、井上信治、今村雅弘、加藤勝信、梶山弘志、木村太郎、城内実、小泉龍司、近藤三津枝、塩崎恭久、新藤義孝、菅義偉、棚橋泰文、永岡桂子、額賀福志郎、平沢勝栄、古川禎久、松本純、村田吉隆、有村治子、石井浩郎、岩城光英、衛藤晟一、佐藤ゆかり、末松信介、谷川秀善、塚田一郎、鶴保庸介、野上浩太郎、古川俊治、松村祥史、松村龍二、山崎正昭（順不同）

4. 議 題 「日本の治安と国土強靱化について」  
（講師）首都大学東京法科大学院長 前田 雅英 氏

## 5. 講演要旨

- ① 国土強靱化の土台は国民が安心して暮らせる場所である。治安や安心・安全抜きでの強靱化というものはない。本当の日本の強さ、日本で一番誇れるものは“治安のよさ”である。安心して暮らせることが非常に大事なポイント。
- ② 公共事業によるデフレギャップの調整、震災対策・復興・防災による安心感の創出といったことは国土強靱化の軸として全く問題ないことであるが、どういうプレゼンの仕方がよいかは考えていただきたい。
- ③ 法律学はドイツの真似ばかりしてきたことがあり、ドイツがこうだから日本はこうならなければならないという議論が非常に強い。しかし、緑の党の議論をそのまま日本

に持ってくることは危ない。それぞれ文化的背景など色々な問題条件があるので、治安についても、他国をそのまま真似るのではなく、日本であるということ意識しなければならない。

- ④ イギリスに限らず、ヨーロッパの治安は悲惨な状況だった。そういう中でサッチャー政権は対策を打つわけだが、これはやむにやまれず飲む強い薬のようなもの。日本は治安対策というとイギリスを真似ることが多いが、日本はうまくいっているところなので、イギリスの政策をそのまま真似る必要はない。
- ⑤ 日本の戦後の治安は、1975年がターニングポイント。戦後の前半期はただただ治安は良くなってきた。しかし1975年以降、凶悪犯罪は引き続き減少を続けたが、全犯罪が増加し、あっという間に治安が悪化した。治安の悪化は2002年にピークを迎え、その後の政府の対策によって、今はほぼ戦後最良の状態まで改善している。
- ⑥ 治安の改善に一番効果を発揮したのは警察官の人数が増えたこと。統計的にも、警察官あたりの犯罪数が少ない県は検挙率（犯罪が解決する割合）が高い。全部緊縮だけでは駄目で必要なところにはお金をかけることが大切。公務員削減の中でも警察官を増やしてきたことは間違いなく効果があった。世界各国でこういう形で治安を完全に回復できた例はない。もちろん、政府各省庁が入管の問題など随分頑張ったところもあるが、やはり制度と組織と必要なところにお金を使うことは必要。反面、無駄なところはしっかり削らなければならない。
- ⑦ 日本は、民族・文化・言語の統一性、家族・企業・コミュニティの強い連帯性、文化的な伝統、固有の倫理、恥を重んじる、名誉を重んじる、といった社会統制によって、世界で驚異的な治安のよさを誇ってきたが、近年は規範喪失が日本の治安を悪くしている。これを何とかしなければならない。単純に警察を増やすというだけでもダメ、いろんな問題がある。提言されている国土強靱化の施策はおっしゃるとおりではあるが、それをつなぐ問題として、いわば心の問題、その中間としての人の問題にももう少し目配せしていただきたい。
- ⑧ 日本も諸外国も治安が悪くなったことの原因の一つに、外国人の問題がある。近年治安が悪くなった地域は外国人労働者が多く入ったところが多いが、特に工場や介護などの労働力の問題もあって、一概に排除するわけにもいかない。よい社会になったが、その分弱い社会になってしまった。そういう問題がトータルにあっての治安であるので、警察官を増やすだけでは駄目だが、増やさなければいけないところでは増やしていいかないといけない。同様に財政支出等も必要なところではきちっとやらなければならない。その中で一番大切なのはバランスをどう取っていくか。バランスをとる時に一番重要なのは、国民から見てどう見えるか。国土強靱化の施策も国民から見て、

官僚や議員の利益になると捉えられないことが大切。

- ⑨ もう一つ治安悪化の要因として、少年問題がある。福祉国家であるスウェーデンが世界一犯罪率が高いのは、離婚の増加などによって家庭の崩壊が進み、少年犯罪が増加しているからである。子供は親が育てなくても国が予算をつけてしっかり育てるという考え方は、心の問題がスポンと落ちてしまっている。それでは犯罪は減らない。制度も大事、施設も大事、それに加えて人の心の問題が一番大事。
- ⑩ 治安の変化から、今回の強靱化のことを少し学んでいただきたい。社会であれ治安であれ経済であれ、波がある。しかし、その中で政策はきちりとぶれないでほしい。
- ⑪ 基本は経済が良くならなければ犯罪は減らない。治安に一番大きく影響するのは失業率などであり、デフレがこのまま続けば、治安もダメになってしまう。しかし、経済だけ、お金だけというわけではない。心の問題も忘れないでいただきたい。また、財界は労働力として外国人をもっと入れろとなるが、ここもバランスは考えていただきたい。国土強靱化という意味でも、日本の強靱化、日本人の強靱化、ということが大事。
- ⑫ 今は官僚をたたけばよいという風潮になっているが、やはり日本は官僚国家。要は政治家がそれをうまく使えばよいだけのこと。だから官僚制度も活性化しなければならない。地方分権、地方分権というが、地方を動かす中心もやはり官僚。しかし、その官僚制度を有効に機能させるためにも、国民に信頼され、尊敬される議員・官僚を育てていかなければならないし、政治家と官僚の役割分担も再構築していかなければならない。
- ⑬ 日本社会の強靱化で一番急がなければならないのは政党の強靱化。政策をしっかりリードしていける、人徳のある党首が必要。民主党の最大の弱さは組織が弱いこと。組織が人を支えない。やはり人を支える組織をきちんと作る必要がある。
- ⑭ 国土強靱化計画によって日本を活性化し、多くの人々に希望、光を与えなければならない。同じ内容でもどう表現するかで全然違う。バラマキ批判と結び付けられないように、言い方が大事。

## 6. 主な意見

- ・ 経済が右肩下がりに入って、個人主義・拝金主義的な考え方が日本に浸透してきたということが犯罪率の悪化につながっていると思っている。どうやればこの右肩下がり、ボータレスの時代の中で、犯罪率を下げていけるか、そのために国土強靱化と言うのは非常に重要だと思っているが、先生はどうお考えか。

- ・ 入管を 2500 人にするのは、官僚が案を作ってそれに政治が乗ったのではなく、完全に政治主導でやったもの。法務省では司法でないものは継子扱いで、そこに予算がこないということが多かった。政治主導で勧めたことを官僚がしっかり引き続いて実行してくれていただいていることはよいこと。
- ・ 法科大学院については、理想と現実の乖離があった。地域性の問題や多様な人材を法曹界に入れていかなければならないなど、もっと理想は高かった。今、その理想はどうしたという、より強いメッセージがあってよい。完全に見直しをしなければならない状況。また、教育、地域の活性化には、大学の役割が大切。地域で頑張っている大学もあり、そういうところをもっと評価して大学力をつけていくことが必要。政権奪還の暁にはもっとそういう視点から教育を見直すことが必要と感じている。
- ・ 国土強靱化をどう表現していくかが大事なポイント。我々は公共事業だけでなく、全般的な議論をやってきた。また、「人からコンクリート」などと言われないようにしなければならない。一方、3.11 以降の国土の強靱化は必要、当然対応していかなければならないことであり、それに予算を付けることは当たり前のこと、正面突破するべきだと思う。我々は国民の生命・財産を守るという強い意志表示をしなければならない。どう表現していくのがよいか、お考えの一端を聞かせて欲しい。
- ・ 大平内閣の三本柱（総合安全保障の強化、家庭基盤の充実、田園都市構想）を非常に懐かしく思い起こしている。国民に希望をもっていただくため、この大平内閣の三本柱を今の 21 世紀型にどの様にアレンジし、プレゼンテーションしていけばよいかということを考えている。

7. 前田雅英 講師の主な著書

- ・ 「刑法から日本を見る」（東京大学出版）
- ・ 「少年犯罪」（東京大学出版）
- ・ 「日本の治安は再生できるか」（ちくま書房） 等

※ご意見送付先

【事務局】自由民主党政務調査会

国土強靱化総合調査会 担当

TEL : 03-3581-6211

(内線5425)

FAX : 03-3581-6700

E-MAIL : kokudo-kyojinka@mail.jimin.jp

以上